

特集 2

21世紀の主役を育てる熊本の教育



県教育委員会では、時代の変化やさまざまな教育に関する課題に的確に対応した教育を展開できるように、学校や教育委員会の取り組むべき基本的な方向性を示した大綱を策定しました。



熊本県教育改革大綱

学校・教育委員会の取り組むべき基本的な方向性

教育改革を進めるための体制を整えます

1.時代の進展に応じた教育行政を進めます

- ◎教育改革を進めるため、調査・企画・立案・広報を担当する組織を整備します。
- ◎市町村教育委員会の各種の主体的な取り組みを支援します。

2.地域に開かれた特色ある学校づくりを目指します

- ◎学校の情報を提供したり、保護者や地域の声を取り入れながら開かれた学校づくりに努めます。
- ◎特色ある学校づくりを目指すため、学校評価の在り方について研究します。

3.児童生徒へ愛情を注ぎ、教育に情熱を持ち続ける教職員を育てます

- ◎教職員の実践的指導力を高めるための校内研修の充実に努めます。
- ◎大学・諸機関・団体などとの連携を深め、教職員の教育力の向上に努めます。



児童生徒がもっている資質や能力を十分に発揮できるように学校教育を充実します

1.基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるとともに、個々の長所や可能性を発見し、伸ばします

- ◎基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるため、児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導を行います。
- ◎児童生徒の能力・適性、興味・関心に応じた主体的な学習ができる授業への転換を図ります。

2.豊かな人間性をはぐくむよう心の教育を充実します

- ◎豊かな心を持ち、人間としての生き方の自覚を促し道徳性を育成するために、道徳教育を充実します。
- ◎生活体験、社会体験、ボランティア活動などを通して、社会性を培っていきます。
- ◎同和問題を重要な柱として人権教育を推進します。

3.体育・スポーツを通して、健全な心身を育成します

- ◎運動部活動を通して、体力や運動能力を高めるとともに、自主性、責任感、忍耐力、協調性をはぐくみ人格的な成長を図ります。
- ◎地域のだれもが参加できるスポーツクラブの育成を支援し、地域の人々との多様な交流やスポーツ活動の機会の充実を図ります。

4.社会の変化に応じた教育を充実します

- ◎国際化におけるコミュニケーション能力の育成やIT革命などの情報化への対応に努めます。
- ◎環境問題に主体的に取り組むことのできる児童生徒を育てます。

学校は、家庭、地域社会とともに、子どもを育てます

1.学校、家庭、地域社会が連携・協力し、一体となって子どもを育てます

- ◎学校、家庭、地域社会の役割と責任を明確にし、それぞれ相互補完しながら子どもを育てます。

学校では 基礎学力の充実および健全な心身の育成を図っていきます。また、就学前教育機関との連携・交流に努めます。

家庭は 基本的な生活習慣、善悪の判断などの社会生活を営むためのルールやマナーを身に付けた子どもを育てる役割を担っています。学校・教育委員会は、PTAなど多方面の協力を得ながら支援していきます。

地域社会は さまざまな世代間の交流や自然体験などを通して社会性をはぐくみ、さらに温かく見守ったり、たしなめたりして子どもを育てる機能を持っています。学校・教育委員会は、その機能が十分に発揮できるように協力していきます。

2.命を大切にする教育を充実します

- ◎花作りや小動物の飼育などを通じて、生きているものへの愛情を育てます。
- ◎熊本の豊かな自然の中で勤労体験活動などを通じ、大自然の恵みに対する感謝の念を育てます。



3.いじめ、不登校、非行問題などの解決に向けた取り組みを充実します

- ◎児童生徒一人ひとりを見つめ語り込み、児童生徒との信頼関係づくりに努めるとともに、是は是、非は非とする毅然とした態度で問題解決に当たります。
- ◎児童生徒のだれもが気軽に相談できる体制づくりに努めるとともに、専門家や関係機関、家庭との緊密な連携を深め、問題解決に努めます。

詳しくは、ホームページをご覧ください。 <http://www.higo.ed.jp>